



ふらり らいふらりい



～図書室にはこんな本があります～

No. 161

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問 女性雑誌で、終戦直後(終戦から昭和22年ごろ)のものが見たい。

答)「主婦」あるいは「婦人」をキーワードに検索してみましょう。

雑誌 → →
にチェックをいれる
4231件該当

次にの絞込ボタンで発行年月を絞りましょう。

→ から 143件該当

検索結果の一部雑誌をご紹介します。

『主婦と生活』(051/Sh99) 昭和21年8月～昭和22年12月所蔵

『主婦之友』(051/Sh99) 昭和20年9月～昭和22年12月所蔵

『婦人倶楽部』(051/F64) 昭和20年12月～22年12月所蔵

『婦人之友』(051/F64) 昭和20年9月～昭和22年12月所蔵

全て閉架書棚。期間内の欠号あり。

「衣」や「食」など知りたいテーマがある場合は、検索結果一覧から更に「ことば」の絞り込みボタンを押し、キーワードを入力して絞り込んで下さい。

また、デジタル資料には『婦人公論』があります。こちらは来館者検索端末でご覧頂けます。操作方法等ご不明な点がございましたら係員にお問い合わせ下さい。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



東京オリンピック



東京が2020年夏季五輪・パラリンピックの開催都市に選ばれました。初めての東京オリンピック開催が決定したのは1959年(昭和34)5月です。敗戦によって打ちひしがれた日本人はなんとか焼け跡から立ち上がり、外国から来るお客さまたちに恥ずかしくない国の姿を見せようと、道路交通網、競技施設、宿泊設備……等々の建設と整備に、全力を挙げました。そして1964(昭和39)年10月10日、世界中から多くの選手と観客を迎え、東京オリンピックが始まり、熱い感動を与えてくれた15日間となりました。

* 東京オリンピック開催が決定した1959年5月27日に掲載された朝日新聞の天声人語を紹介します。

ミュンヘンのIOC総会で、一九六四年度オリンピック夏季大会が東京にくることに決った。近代オリンピックも十八回目に初めて“第五の輪”がアジアに来るわけである▼日本はオリンピック返上のがい経験をもっている。

昭和十五年の第十二回大会は東京と決っていたのに、“戦時態勢”でお流れになった。第二次大戦後は日本とドイツは五輪大会から締め出され、二十七年のヘルシンキ大会から復帰した。帰り新参にしては、よく東京が認められた。“東洋の魅力”が招き寄せたのかもしれない。

—以下中略—

東京大会にはあと五年ある。開催地にはなったが、日の丸も掲げられないではさびしい。今の中学・高校生からの選手養成も大切な仕事だ。欧州や南米では「東京は遠い」という。が、五年先には国際航空の発達で地球の距離はぐっと縮まるのだろう。またそのころには人口衛星の中継でテレビの世界同時放送が実現するかもしれない。

『朝日新聞縮刷版』(071/A82/1959-5)閉架書庫

今度の東京五輪開催は1964年以来、56年ぶりとなります。
2011年に東日本大震災がありました。招致演説では、スポーツが被災地の夢や希望になったことを訴え、スポーツの持つ力が強調されました。
世界にスポーツの素晴らしさをどう伝えていくか、今から東京五輪が楽しみです。

◎参考文献:「激動の昭和を見る 3 高度経済成長編」(210.7/Ko19/6)閉架書庫

—写真展のお知らせ—

11月1日から 12月23日まで、昭和館2階ひろばにて「GHQ カメラマンが見た戦後の日本—復興にむけて働く人びと—」と題し、写真展を開催します。ぜひご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 161

2013年10月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1